

B 2023/5/28(日)13:50-16:50

「知らないではすまされない薬剤師による褥瘡の薬学的管理—フルタメソッド—」

講座情報

診療報酬における褥瘡の薬学的管理計画は、フルタメソッドを軸に検討されました。外用薬による褥瘡治療では基剤の特性が重要な役割をもち、主薬の効果は滲出液量に対する基剤特性のマッチングで決まると言っても過言ではありません。また高齢者の皮膚は加齢変化により、たるみが大きく、創の移動や変形をもたらします。それが創内の薬剤滞留に影響し、効果が減弱することがあります。従来、褥瘡が改善しない要因にそれらの問題が注目されず、外用薬が効かないという不適切な評価がされてきました。しかし、フルタメソッドはそれらの点に着目して、改善させるために有用であり、薬剤師の視点として極めて重要になります。講演 60 分、実習 120 分を予定しています。

《実習内容》(予定)

褥瘡の深さに応じた処置・手技を修得する。

- ・浅い褥瘡…褥瘡モデルの洗浄、軟膏の混合・塗布・フィルム貼付
- ・深い褥瘡…ベスキチンへのフィブラストスプレー噴霧、壊死部へのヨードホルムガーゼの当て方、ガーゼによる湿潤保持、ユーパスタ軟膏充填、便汚染予防・レストンパッド固定
- ・その他…C型ガーゼクッションの適切な使用法、テーピング体験、洗浄

《学習到達目標》

褥瘡がどのような機序で発症するか、薬剤滞留を阻害する要因は何か、基剤の特性からみた機能は何かを理解する。外用薬の効果を阻害する薬剤の問題点を説明できるようにする。外用薬の副作用を理解する。高齢者の内服を含めた使用薬剤の影響による活動性の低下など、褥瘡の発症リスクを高める薬剤の関するチェックの必要性を理解する。

講演者情報

古田 勝経

医療法人愛生館 小林記念病院 褥瘡ケアセンター長、国立長寿医療研究センター 薬剤部研究員

プロフィール

<略歴>

1976年3月 名城大学薬学部卒

1976年4月 国立名古屋病院 薬剤科

1983年4月 厚生省 環境衛生局 家庭用品安全対策室

1990年4月 国立療養所東名古屋病院 副薬剤科長
2004年3月 国立長寿医療研究センター 副薬剤部長
2010年4月 国立長寿医療研究センター 臨床研究推進部 高齢者薬物治療研究室長
2015年4月 医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 国立長寿医療研究センター 薬剤部研究員 現在に至る

<認定資格>

日本褥瘡学会 認定褥瘡薬剤師

<所属学会・委員等>

日本褥瘡学会名誉会員、日本褥瘡学会薬剤師教育作業部会委員、皮膚褥瘡外用薬学会・理事長、NPO法人褥瘡サミット・代表

主要著書・参考文献

基剤ファーストによる褥瘡の外用薬治療(褥瘡会誌)2023.1.
ブレンド軟膏による壊疽治療(日本医事新報社)2022.
これで治る! 褥瘡「外用薬」の使い方(照林社)
褥瘡治療薬使いこなしガイドー治らなかった褥瘡がフルタ・メソッドで治る(じほう)
早くきれいに褥瘡を治す外用剤の使い方(照林社)
褥瘡治療薬ナビ(じほう)
Active topical therapy by Furuta method for effective pressure ulcer treatment: a Retrospective study, Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, in Press, 2015. 等

参考サイト

decunet(NPO 褥瘡サミットメーリングリスト):褥瘡治療などの関する疑問、問題。相談などを受ける